

今月は、いちごの美味しい季節に読みたい絵本をご紹介します。

『いちごハウスのおくりもの』

村中 李衣／作 えがしら みちこ／絵 世界文化ブックス 2022年 ¥1200(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児★★★ 小低学年★★☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

ひまりちゃんのおじいちゃんは、ハウスでいちごを栽培しています。それがひまりちゃんには自慢で、いちご作りのお手伝いもたくさんしています。でも、ある日、遊びに来たお友達が、ハウスにいたミツバチを怖がって帰ってしまいました。悲しくなったひまりちゃんは、ミツバチも、ミツバチの味方をするおじいちゃんも嫌い！とお手伝いをしなくなってしまい…

えがしらみちこさんのやわらかな絵が物語にぴったりな、ほんわかとしたやさしい絵本です。ひまりちゃんの物語を楽しみながら、いちご栽培や、いちごの育ち方も自然と知ることができます。

<子どもに手渡す時のポイント>

表紙のいちごがまず目を引き、読み聞かせにも向いています。いちごの季節にぜひ読んであげてください。

巻末に、いちごができるまでの解説も簡単についています。野菜・果物や植物の生育などに興味を持ったら、今度は、図書館の分類番号「62」のところを案内してあげてください。育ち方や栽培方法に関する本があります。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。